TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

力の福音　誰のために働くのか？
エペソ 6:5-9

2024 年 1 月 13 日 & 14 日
余沢 武　牧師

I. はじめに
こんにちは。
エペソ人への手紙の学びを続けます。私たちは、イエスを信じることによって世の闇を暴く光の子どもとなったことを学びました。しかし、私たちは聖霊に満たされる必要があります。つまり絶えず祈り、聖霊と対話し、聖霊に耳を傾けることです。

そうすれば、私たちの人生における神の働きを経験することができます。そして、私たちは変えられるのです。私たちは互いに委ねあうようになります。妻や夫は互いに委ねるようになり、子どもたちや親たちも互いに委ねるようになるのです。

今日、私たちは、労働者と雇用者または監督者がどのように互いに委ね合うかを見ていきましょう。その前に、祈りましょう。

II. あなたは誰のために働いていますか？
(1) 人間の主人に従いなさい
エペソ 6:5 を見ましょう。「奴隷たち、キリストに従うように、恐れおののきつつ、真心を込めて、肉による主人に従いなさい。」

現在、私たちは「奴隷」が「主人」の所有物である、というような奴隷と主人の関係を持っていません。あるのは、「従業員」と「雇用主」の間の「相互契約」です：
1「従業員」は「良い仕事」を提供し、会社から与えられた役割を果たすことに同意する。
2「雇用主」は、「賃金」と「福利厚生」を提供することに同意する。

そして、「奴隷」とは異なり、現代の従業員には、求めるなら労働関係から離れる自由があります。この境界において、ここでの教えは現代の「従業員＆雇用主」または「労働者＆監督者」の関係に当てはまるのです。

ですから、この文脈の中で、パウロはこう言っているのです：「労働者たちよ、恐れおののきながら、キリストに従うように、誠心誠意、人間の上司に従いなさい。」

私たちが御霊に満たされ、絶えず御霊に語りかけ、御霊に耳を傾け、キリストに似た僕となり、神のご性質を示すことを望むなら、職場での態度は根本的に変わります。私たちは
イエスに従うように上司に従うようになるのです。しかし、どのように？

私たちは、イエスに従う能力のない罪人であることを知っています。私たちがイエスに従う唯一の方法は、謙虚に絶えずイエスに助けを求め、イエスの助けに頼ることです。
主の助けによって、私たちは主に従う能力を与えられるのです。
2 そして、イエスが私たちに「納得できないこと」「やりたくないこと」を求めるとき、
アダムとエバが自分自身を信頼したのとは異なり、私たちは主を信頼し、恐れおののき、誠心誠意、主に従うことです。

契約の範囲内であり、罪を犯すことを求められない限り、私たちをそこに置いた主を信頼して、このようにして、私たちは職場の上司に従うべきなのです。パウロによれば、神の光は、＃1服従を通して、私たちの職場で輝くのです。

彼はこう続けます：v6-8「人の機嫌をとろうと、うわべだけで仕えるのではなく、キリストの奴隷として、心から神の御心を行い、人にではなく主に仕えるように、喜んで仕えなさい。あなたがたが知っているとおり、奴隷であっても自由人であっても、善いことを行えば、誰でも主から報いを受けるのです。」

私たちの働く態度を通しても光は輝くのです。パウロは言っています、「人を喜ばせる」ためではない。上司のために働いていると思わず、また自分がどう評価されているかを意識しないでください。あなた方は

「キリストの奴隷であり、神のみこころを行う者」であることを忘れないでください。

私たちは、人を喜ばせるため、人を感動させるために、仕事をうまくこなすことができる。また、イエスのためにすることもできる。しかし、この 2 つはまったく異なるものです。

ある家族が友人を招いて夕食を共にしました。力強い声を持っていることで知られているある俳優もそこに居合わせました。夕食の後、ある客がその俳優に何か朗読してくれるように頼みました。しかし、誰も適切なものを思いつきませんでした。そこにある年老いた牧師も居合わせました。

彼は詩篇 23 篇「主は私の羊飼い。私は乏しいことがない。」という詩を提案しました。
役者は躊躇したのですが、牧師が自分の後に同じ詩篇を朗読するという条件で同意しました。そして役者は詩篇を朗読しました。それは見事でした。誰もが喝采しました。

そして老牧師の番が来ました。彼はゆっくりと前に来て朗読を始めました。彼の声はか細かったけれど、それは彼の心の奥底からのものでした。喝采する人は誰もいませんでした。誰もが泣いたのです。そして、その俳優が言いました。「この牧師と私の違いは、私は詩篇を知っていたが、彼は羊飼いを知っていた。」

俳優は朗読するとき、そこにいる人々のことを考えていました。しかし、牧師は朗読する時、イエスのことを考えていたのでした。

これがノンクリスチャンの働き手とクリスチャンの働き手を分け隔てるものなのです。
1 ノンクリスチャンの働き手は人のことを考えていて、人を喜ばせるため、感動させるために仕事をします。
2 クリスチャンの働き手はイエスのために働きます。神の御心に従って、イエスのために仕事をするのです。それは「神のご性質」を人に示す謙遜な僕となるために。

同じことをしているように見えるかもしれませんが、彼らが誰に仕えているのか、何を達成しようとしているのかは、まったく違うのです。
彼らは覆面警察官のようなもので、会社の他のみんなと同じことをしているように見えるかもしれません。しかし、彼らには別の上司がおり、別の意図があるのです。
彼らの目的は、最も従順で、最も勤勉な謙虚な働き手となり、神のご性質を示すことなのです。

しかし、それだけではありません。パウロは、このことがなぜ重要なのかを説明しています。v8 で言っています。「あなたがたが知っているとおり、奴隷であっても自由人であっても、善いことを行えば、誰でも主から報いを受けるのです。」

「報い」とは、「善いことを行えば」という意味です。

だから、私たちはイエスに仕えるために働きに行くだけではなく、イエスからの報酬を楽しみに待っているのです。
具体的には示されていませんが、私たちは何らかの形で報いを受けるとイエスは言っています。そしてそれは「私たちがした良いこと」に比例するのです。
1 私たちが行った善が 1 であったなら、私たちが受け取る報酬は 1 である。
2 私たちが行った善が 10 なら、私たちが受け取る報酬は 10 になる。
3 私たちが行った善が 100 であったなら、私たちが受け取る報酬は 100 である。
では
1 もしボスがとんでもない計画を立てていたとしても、私たちは心から謙虚に仕える。
2 上司が私たちの勤勉さを見抜けないとしても、私たちは心から謙虚に仕える。
3 もし上司が理不尽に声を荒げたとしても、私たちは謙虚に優しく対応する。あるいは
自分が声を荒げたとしても、すぐに許しを請う。

私たちの主はこれらのことを見逃さず、それに応じて私たちに報いてくださいます。

だからこそ、クリスチャンが聖霊に満たされ、聖霊によって絶えずこのことを思い起こさせられるとき、「今日、どうしたら上司を喜ばせることができるだろうか」と考えて仕事に行きません。彼は、「今日はどのように主イエスに仕え、喜ばせることができるだろうか？」と考えて仕事に行くのです。

(2) 主人たちよ、脅してはならない。

パウロは続けます。V9「主人たち、奴隷に対して同じようにしなさい。脅すことはやめなさい。あなたがたが知っているとおり、彼らとあなたがたとの主は天におられ、人を分け隔てなさらないのです。」

パウロは、「主人たち、監督者、雇い主」「労働者に対して同じようにしなさい」と言っています。

「同じように」とは、「あなたがたの労働者にも、恐れおののきながら、イエスに仕える者として、誠心誠意、接しなさい」という意味である。つまり、彼らも覆面警察官のようなものです。彼らは一見会社を経営しているように見えるかもしれませんが、彼らもまた、イエスに仕える覆面警察官なのです。

そして、彼らが従業員たちにどのように接し、謙虚な僕としてどのように神のご性質を示したかによって、彼らの報酬は決まるのです。

そして、もし彼らが労働者たちを脅したり、声を荒げたりしたなら、彼らもまた、赦しを請う必要があるのです。
イエスはえこひいきをしません。雇用主や監督者は、こうしてイエスに仕えるのです。

(3) 結論
パウロによれば、このように光の子であるクリスチャンはこの世の闇を照らし、さらしだすのです。特に仕事場ではそうです。

私はクリスチャンになりたての頃、動物病院で働いていました。ある日、同僚の一人が
私を困らせることをしました。私は彼女を無視することにしたのです。彼女が私のいる部屋に入ってきても、私はわざと彼女を見ないようにしました。

もし彼女が話しかけてきたら、私は立ち上がって部屋を出て行きました。そうして数時間そんな態度をとり続けました。どのように聖霊が私を悟らせたかをよく覚えています。私はこう思いました。「もちろん私が間違っている。彼女のところに行って許しを請おう。」それで彼女のところに行って許しを請いました。彼女がどう応対したか想像できますか？彼女は私に、私がいかに間違っていたか、私がいかに失礼だったか、私がいかにあれこれ言ったかを説教し始めたのです。彼女の話を聞いているうちに、私は言い返したくなりました。

しかし、私の中の声はこう言い続けました。「だめだよ Takeshi 何も言ってはいけない」と。そして私はこう祈り続けました。「助けて、助けて、助けて」 神の恵みによって、私は彼女が言い終わって立ち去るまで黙っていることができました。クリスチャンになってから、私が誰かに許しを請うたのは、おそらくそれが初めてだったと思います。そのとき、私はずっと御霊と話していました。そして私を聖霊が私を導いてくださったのです。

その後、その同僚は自分も教会に行くと決め、彼女もクリスチャンになりました。しばらくの間、私は御霊に満たされました。
その結果、私は少しの間、主のご性質と光を示すささやかな明りを放つ謙虚な奉仕者となることができたのです。

労働者も監督者も、御霊に満たされてはじめて、イエスの僕として働くことができるのです。それは絶えず祈り、主と話し、主に耳を傾け、主に導かれることによるものです。だからこそ QT を持って、特に絶え間ない祈りの習慣を養うことが重要なのです。

私たちは、御霊に満たされて初めてイエスに仕えることができるのです。それ次第で、私たちは人間のボスに仕えるか、主イエスに仕えるかが決まるのです。あなたは誰に仕えますか？

もしあなたがまだイエスを知らず、仕事のことで悩んでいるのなら、ぜひイエスを受け入れて、これからはイエスに仕えてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg0324jp

★クラス 301
自分の賜物発見クラス
1月 28 日（日）1:00pm – 5:00pm
参加条件: クラス 101&201 を修了した方

★クラス 401
人生の使命を発見する
2 月 18 日（日）1:00pm – 5:00pm
参加条件: クラス 301 まで修了した TBC 教会員

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1. 日本語字幕オペレーター

月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーで押していく作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2. 日本語訳字幕作成

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1, 2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3. 週末礼拝メッセージ翻訳

1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

4. 日本語訳レイアウト&印刷（女性募集）

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。
スキル：MS Word の簡単な操作ができる方。英語のスキルは必要ありません。

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org